




ケーブル收容管縦切り機!!

油圧式管路カッター HD-175型

# 取 扱 説 明 書

製造  株式会社 **ダイア**

発売 **井筒屋株式会社**

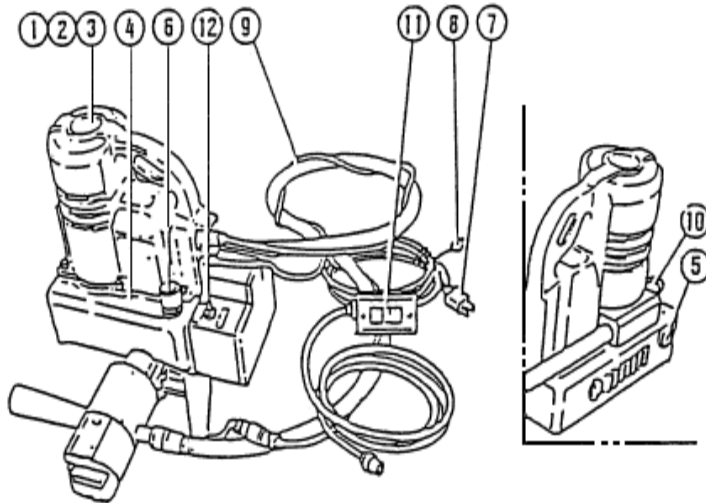
〒452-0901 愛知県清須市阿原神門 241

TEL (052) 400-8011 FAX (052) 400-8023

<http://www.idutuya.co.jp> [info@idutuya.co.jp](mailto:info@idutuya.co.jp)

# 油圧式管路カッター HD-175型

## 電動油圧 ポンプ 名称



1. 整流子モーター
2. ソレノイド
3. カバー
4. 油タンク
5. 丸型オイルゲージ
6. 空気弁（給油口）
7. 電源コード
8. アースジャック
9. 油圧ホース
10. 圧力調整弁
11. 手元スイッチ
12. 切替スイッチ

## 電動油圧ポンプ部

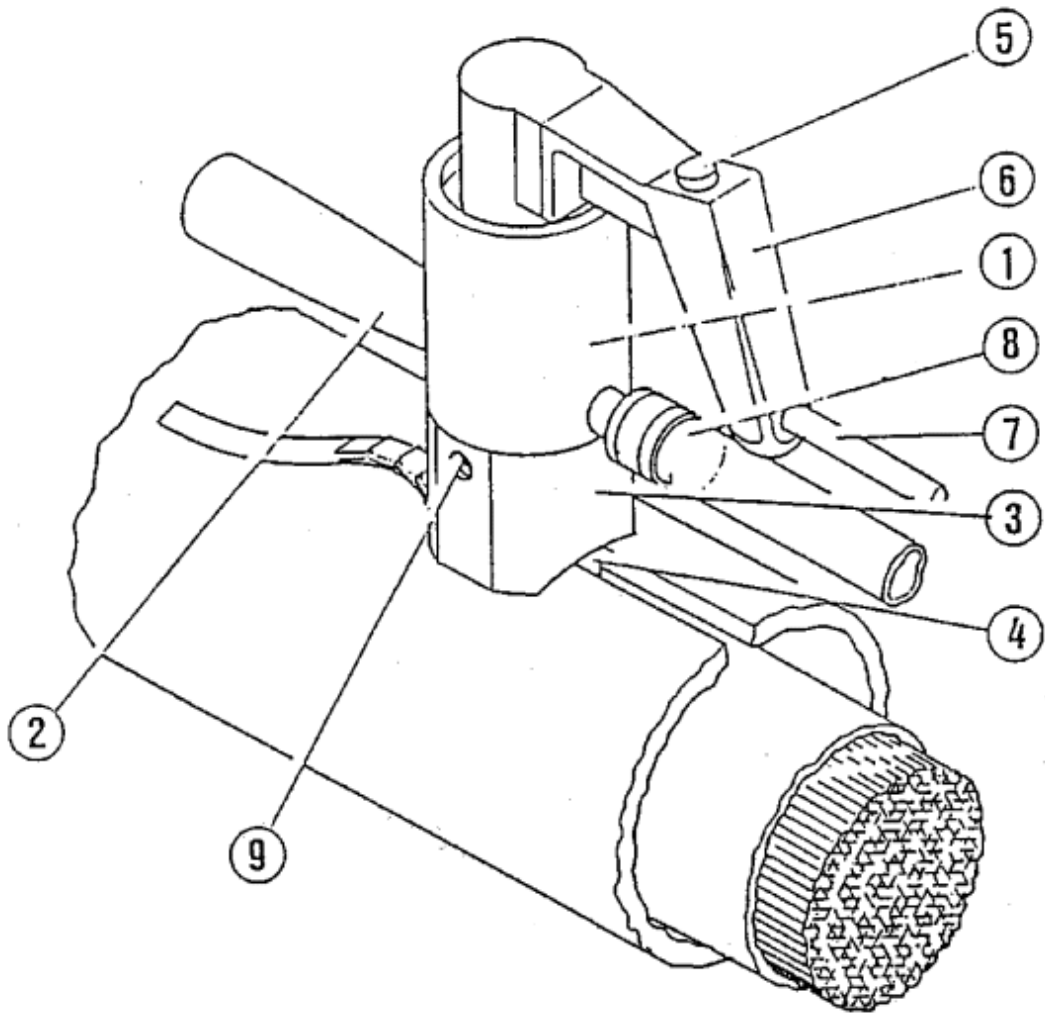
### モーター仕様

型 式： 整流子モーター（シリスモーター）  
定格電源： AC100V（50/60Hz）  
入 力： 5.6A 540W  
出 力： 300W  
回 転 数： 1650 r.p.m  
定 格： 連 続

### ポンプ仕様

型 式： 高低圧2段自動切換式可変容量型ポンプ  
圧 力： 0 ～ 700 Kg/cm<sup>2</sup>  
吐 出 量： 高圧 700Kg/cm<sup>2</sup> 時 0.18 ㍓/min  
          低圧 3.5 Kg/cm<sup>2</sup> 時 2.2 ㍓/min  
タンク容量： 1.2 リットル  
重 量： 8.5Kg（ホースを含まず）

# 油圧式管路カッター説明図



(75φ鋼管切断状態)

《 名 称 》

- |           |            |
|-----------|------------|
| ① ラム      | ⑥ ハンドル     |
| ② ガイドハンドル | ⑦ 中間コネクター  |
| ③ ダイス     | ⑧ カプラー     |
| ④ カッター    | ⑨ ダイス固定ボルト |
| ⑤ スイッチ    |            |

## ◎ 特 徴

本機は油圧方式の採用により、小型軽量でしかも故障が少なく、カッターが内臓されているので、切断部は収容ケーブルの外被に傷を付けない構造になっており、誰にでも簡単に短時間で切断作業が出来、切断面がきれいに仕上がる為、バリ取りの手間がかからず安全に作業が出来ます。専用油圧ポンプは、切替スイッチによりパイプベンダー及び開管用シリンダー等にも利用いただけます。

## ◎ 使用上の注意

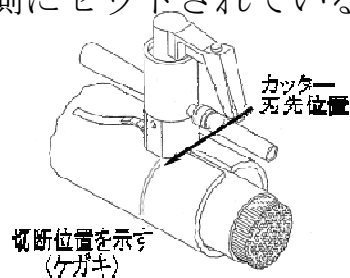
1. 本機は整流子モーター及び電磁バルブの特性として始動時に瞬時的に約 18 アンペアの電流が流れますから、同一電源で同時に数台のモーターを始動する時は電源ヒューズ容量に御注意下さい。
2. ポンプは  $700\text{Kg/cm}^2$  に調整してあり、この時点においては圧力は  $0\sim 700\text{Kg/cm}^2$  間を断続的に往復しています。(カッターの時は  $0\sim 400\text{Kg/cm}^2$ )
3. ポンプ時に手元スイッチにおいて二つのスイッチを同時に操作するようなことは避けて下さい。
4. ポンプは常に清潔にしてお使い下さい。特に故障の大部分はオイル内に混入したゴミによりますから充分御注意下さい。(オイル交換についての項参照)
5. モーターカーボンブラシは、長さが約 7mm となったら交換して下さい。(使用頻度の回数によりますが、約 8 ヶ月の耐久力があります)
6. アース線は必ず使用して下さい。使用しないと漏電することもあります。

## ◎ 作業方法

1. 切断するケーブル収容管の外径の被覆（シュート・ポリエチレン）を剥いで外径をきれいにし、切断管の中央に縦切り用開口工具を取り付け、専用エンドミル付電気ドリルで穴あけ加工を1回分4ヶ所を行い、2回目は工具のボルトを緩め穴ピッチ分ずらし穴加工を再度行った後、治具をはずして下さい。



2. 収容管の中心部は 0.2mm の厚みを残していますので、中のケーブルに当たらない様にして、ドライバー等で軽くたたいて管路カッターの刃が入る程度の長穴をあけて下さい。
3. ポンプは安全な場所を選んで、水平に設置しポンプを駆動する前に空気弁を左に1~2回廻して緩めタンク内部に空気が自由に流れる様にして、管路カッターを長穴の中に入れ押ボタンスイッチを押して、進行方向へ送り込んで下さい。（すべりにくい場合は、オイルを切断する管の外径に塗ると動きやすいです）管路カッターは連続チップ方式ですから4秒に1回の割合で切粉を上を持ち上げる為、収容ケーブルに傷を付けずに誰でも簡単に極めて短時間で作業が出来、一定のところまで切断したい場合は、ダイスの横にカッター刃先位置が刻印してありますので切断線上で止めていただければ完了です。「注」ポンプ本体の切換スイッチがカッター側にセットされていることを確認して下さい。



## ◎ 使用後の処理

1. 手元スイッチは使用後、本機から取り外して下さい。
2. 使用後空気弁をしっかり締付け、オイル漏れやゴミの侵入しないようにして下さい。
3. ラムを外したらモーターに高圧ホースを巻付けてカプラに保護キャップをして下さい。カプラからゴミがポンプ回路内に侵入して故障を起こすことがしばしば発生しますから注意して下さい。ラム側についても同様の注意が必要です。
4. ポンプ外周を清潔な布で清掃し、乾燥した場所を選んでほこりやゴミの付かないように保管してください。

## ◎ オイル交換について

オイルは電動ポンプにとって最も大切なもので故障のほとんどがオイルに混入した糸くず、毛髪、金属粉、その他の異物によって起こります。また、作動油は使用中空気中の酸化反応によって変質劣化し、ポンプ故障の原因となる他、耐耗性の減少によってポンプの寿命を縮めることとなりますので一定期間（六ヶ月）毎に交換することをお奨め致します。また、塵埃の多い所で使用することが多い場合は3ヶ月程度に交換を必要とします。

1. オイルタンクからオイルを抜取る
2. 軽油、その他純度の高い洗油をオイルタンクに充たして洗浄する。
3. オイルタンクから洗油を抜取り、指定された新しい油圧作動油をゴミが侵入しないように注意してオイルタンク内に入れて下さい。

## ◎ オイルについて注意

1. オイルを補給する場合、異種のオイルを混入しないでください。化学反応を起こし故障の原因となることがあります。
2. 指定のオイルがない場合は、タービン油 #90 番を使用の上、後日正規のオイルに全量を交換して下さい。
3. 新鮮なオイルは薄黄色の透明液体ですが古くなると酸化して赤みを増してきますから、オイルゲージをのぞき色が変わっている時は交換して下さい。
4. 一般の手動ポンプや電動ポンプに使われているスピンドル油を含む他の油は、このポンプの主役をなすベーンポンプを損耗しますから使わないで下さい。
5. このポンプに使われているオイルは、日本石油スーパーハイランドオイル 32 番、モービル石油 DTE オイル 24 と同等品を使用して下さい。
6. 使用中の油温が 50°C を越す時はポンプを止めて温度の下がるのを待って下さい。

## ※ 付 属 品

- ・ 4mm 六角レンチ

# 株式会社 **ダイア**

- 本 社 : 〒484-0965 愛知県犬山市字下榎島 33 番地  
営業・総務 TEL (0568) 67-6136 (代) FAX (0568) 67-5668  
製造・技術 TEL (0568) 67-0673 (代) FAX (0568) 67-9354
- 東京支店 : 〒130-0011 東京都墨田区石原 3 丁目 18 番 3 号  
TEL (03) 3623-3786 FAX (03) 3623-5673
- 関東営業所 : 〒308-0803 茨城県下館市直井 1201  
TEL (0296) 25-5559 FAX (0296) 25-5955
- 名古屋営業所 : 〒484-0965 愛知県犬山市字下榎島 33 番地  
TEL (0568) 67-6136 (代) FAX (0568) 67-5668
- 大阪営業所 : 〒581-0818 大阪府八尾市美園町 4 丁目 70-3  
TEL (0729) 96-9780 (代) FAX (0729) 98-5964
- 広島営業所 : 〒739-0324 広島市安芸区中野東 1 丁目 12-1  
TEL (082) 893-4578 (代) FAX (082) 893-4587
- 福岡営業所 : 〒816-0905 福岡県大野城市川久保 3 丁目 1-13  
TEL (092) 503-8169 (代) FAX (092) 503-8673